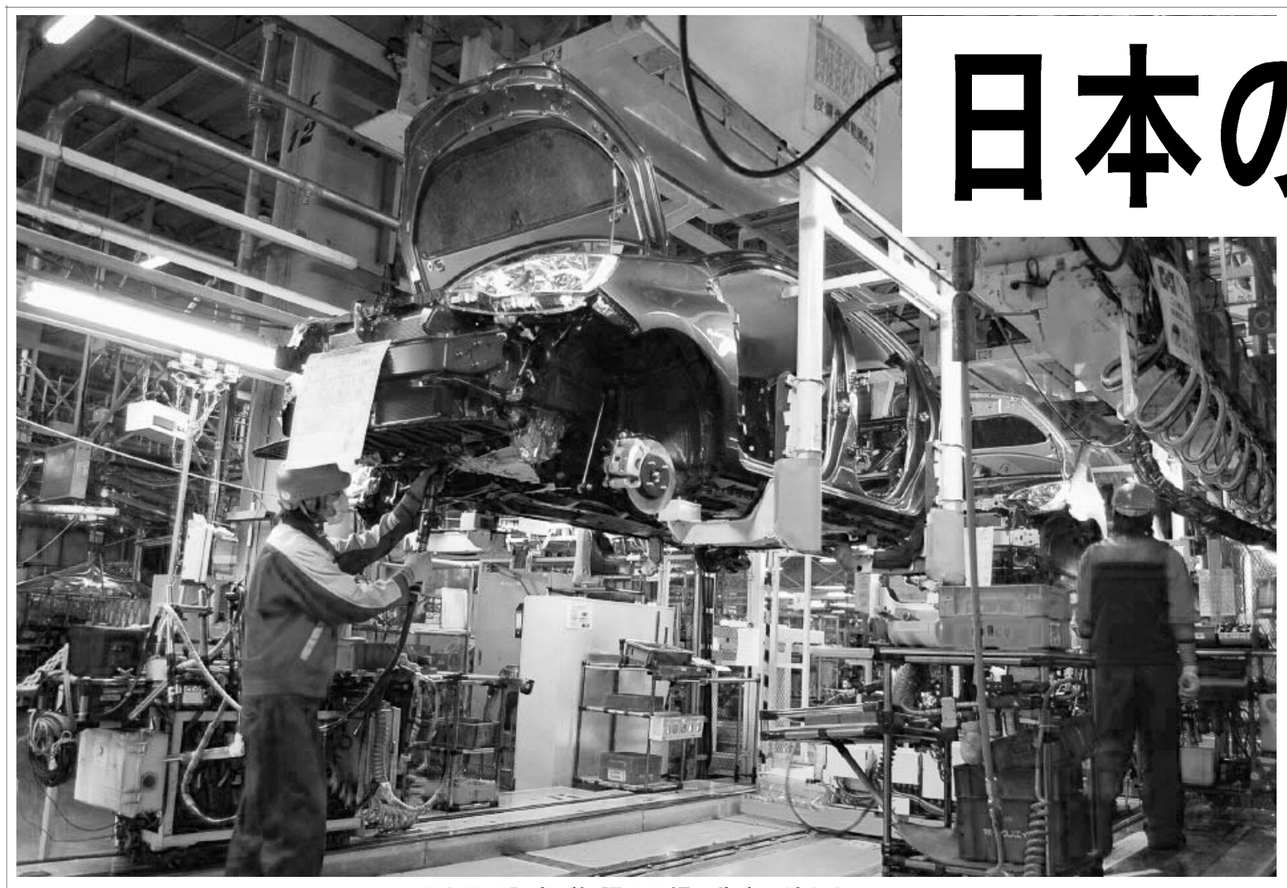
日本の車産業に追い風

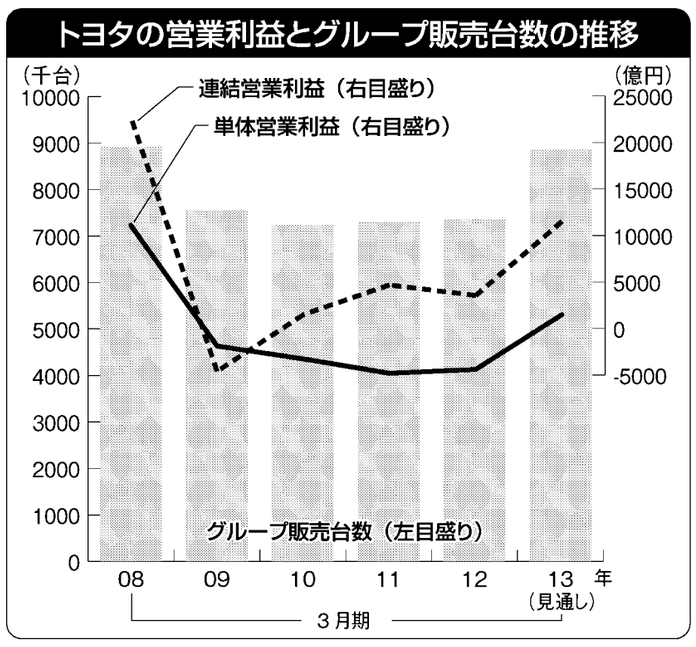
自動車

円安で反転攻勢

日本の自動車業界が復活の時を迎えようとしている。安倍晋三政権の経済政策「アベノミクス」の効果もあり、為替は円安に振れてきた。これまで約４年間におよぶ超円高の逆風の中で各社が取り組んできた収益改善策の成果が、花開きそうだ。東海・北陸地方の自動車業界にとっても、日本を基盤にして世界と戦える環境がようやく整ってきた。反転攻勢の機運は高まっている。



アクアの販売が好調で工場は生産に追われる



営業益押し上げ トヨタ上方修正へ

「デフレから脱却しようという現政権の素早い動きは、モノづくり企業にとってはありがたい」。トヨタ自動車の豊田章男社長は10日、宮城県で行った記者団との懇談でこう述べた。

トヨタ自動車は2013年3月期の業績で、通年の為替レートを1ドル＝81円、1ユーロ＝104円と想定。1－3月期に限れば1ドル＝84円、1ユーロ＝114円と見る。

ところが実際の円ドル相場は1月下旬から1ドル＝90円台が定着。4日の日銀の大幅な金融緩和以降は、円安に戻してきた。

業績に与える影響は大きい。1円の円安で対ドル350億円、対ユーロ50億円の営業利益押し上げ効果がある。13年3月期は、従来1兆1500億円としてきた通期連結営業利益の見通しをはじめ、業績予想を大幅に上方修正することは確実な情勢だ。

ブラジルに投入した「エティオス」

トヨタは09年3月期に創業以来初めての営業赤字に転落。それ以降、円高が進む中ですさまじいまでの収益改善努力を続けてきた。「毎年3000億円を超える収益改善をしてきた」（伊地知隆彦取締役）。その結果「もし円安による業績修正がなく、1ドル＝79円でも単体損益は100億円の黒字になる」（同）ところまで体質改善が進んできた。

これを可能にした最大の要因は、〝お家芸〟とされてきた原価低減の取り組みにある。「単に台数を伸ばすだけでなく、1台当たりの粗利を改善するために固定費を増やさないようコントロールする取り組みを現場の末端まで浸透させてきた」（同）。

体質改善も成果

サプライヤー各社の努力も大きかった。トヨタは異常な水準の円高を受けて、10年4月から部品各社に対し、例年見直してきた部品価格の引き下げ率を上積みするよう要請。部品各社も歯を食いしばってこれにこたえてきた経緯がある。

生産拠点の海外展開も図ってきた。国内での生産台数は年間300万台を堅持するという方針を掲げつつ、それを上回る日本からの輸出分については、基本的に需要のある国で生産する。

特に、車両本体に比べ現地生産が遅れていたエンジンや変速機などのユニット部品についても「現在は日本からの出荷が多いが、現地生産化を進める」（小沢哲副社長）と11年11月の記者会見で説明。その後、インドやタイ、米国、ブラジルの各国で、14年以降にエンジンの生産能力を増強することを決めた。

厳しい経営環境ひとまず緩和

国内外で適正生産を維持

こうした苦しい経営環境は、今回の円安でひとまずは緩和される。今後は「長めの視点として、為替フリーの生産拠点のあり方を考えていく」（豊田社長）。とりあえずは「国内生産300万台堅持、それ以上は需要地で生産」という現在の方針を維持すると見られる。ただし、需要地で生産するにしても08年のリーマン・ショック前までのようなやみくもな拡大路線はとらない。

トヨタは車両工場について、すでに増強を決めているタイとインドネシアを除き、建屋建設を伴う新設は今後3年間凍結する方針。既存工場の能力を最大限活用しながら、米国や東南アジアのような好調な市場での供給能力を確保する。

製品面では「もっといいクルマづくり」がこれから果実をもたらす。「プリウス」や「アクア」といったハイブリッド車（HV）をはじめ、米国で売れ行きが好調な中型車「カムリ」、新興国で根強い人気を誇るトラックベースの「IMV」シリーズと、トヨタには世界で戦える製品がそろっている。これらは15年ごろから続々と、次期モデルを投入する。サプライヤーと一体になった「いいクルマづくり」の成果がいよいよ問われることになる。

東海・北陸地域には、トヨタのほかにも、ホンダ鈴鹿製作所（三重県鈴鹿市）、三菱自動車名古屋製作所（愛知県岡崎市）、静岡県にあるスズキとヤマハ発動機の本社および主力工場と、完成車メーカーの主力生産拠点がある。世界の自動車産業を支える地域として、部品メーカーを含めたモノづくりの力にかかる期待は大きい。円安傾向の中で、今後どこまで本来の力が発揮できるかに注目が集まる。

TOKAI RIKA
触れた瞬間、クルマとの対話が始まる。
感動をかたちに
株式会社 東海理化
〒480-0195 愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
Tel.(0587)95-5211 Fax.(0587)95-1917
www.tokai-rika.co.jp/

名古屋駅前のランドマーク
ミッドランドスクエア
屋外展望施設スカイプロムナード
商業棟アトリウム
TOYOTA 東和不動産株式会社
www.midland-square.com

すべては、かけがえのない時間のために。
大切な人と絆を深める。家族と想い出を重ねていく。
そんなクルマの中で過ごす色とりどりな時間を、
人生にとってかけがえのない一刻（ひととき）にしていただきたい。
トヨタ紡織はその想いをエネルギーに、
快適な移動空間の創造に取り組んでいます。
Design your passion
トヨタ紡織
TOYOTA BOSHOKU
トヨタ紡織株式会社 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 www.toyota-boshoku.com

世界の道で、乗る人の「うれしさ」を学び続ける。
そのクルマは、ヨーロッパの石畳を走るかもしれない。
そのクルマは、灼熱の砂漠を走るかもしれない。
そのクルマは、極寒の凍結路を走るかもしれない。
アイシン精機、特殊試験路。ここには世界のあらゆる道がある。
どんな環境でも満足してもらえる一台のために、このテストコースで
コンピュータで究めた製品を、さらに、乗る人の気持ちになって鍛えあげていく。
すべては、クルマの部品やシステムの開発段階から、
乗る人の"うれしさ"を学び、求められているものをカタチにするために。
AISIN
One Team, Best Future
アイシン精機株式会社
〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 www.aisin.co.jp

今、この瞬間、この惑星（ホシ）で、
何億というクルマが、
何億という命を乗せて走っている。
クルマは、決して、人を傷つけてはならない。
決して、人を悲しませてはならない。
私たちデンソーが守りたいのは、世界の命。
いつも、そして、もしもの時も、
そこには、デンソーの安全テクノロジー。
世界の命を、
技術で守りたい。
クルマがずっと愛されるために
DENSO
www.denso.co.jp

自然と暮らしにつながる、
モノづくり。
TOYOTA
フォークリフト
カーエアコン用コンプレッサー
エレクトロニクス
車両・エンジン
エアジェット織機
街や暮らしの、多彩なシーンに息づく技術。
ページをめくると、豊田自動織機がそこに。
豊田自動織機
TOYOTA INDUSTRIES
www.toyota-shokki.co.jp